

落語を通して語る

戦争 平和 人権



講師

安齋 育郎

立命館大学名誉教授
安齋科学・平和事務所(ASAP)所長
立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長

今年、日本国憲法が施行されて70年目に当たります。政権が改憲を視野に入れつつある中で、論憲・護憲・活憲・加憲など、それぞれの立場からの議論が展開されるでしょうが、ちょっと視点を変えて、憲法の根底にある平和や人権の問題について、「落語」の世界を通じて考えてみたいと思います。私が愛読する『寄席芸人伝』(古谷三敏ファミリー企画、全11巻)をとっかかりに、必要に応じて『日本の話芸』(NHKDVD)などにも目を配りながら、落語や落語家の生き方に反映された戦争・平和・人権の問題を垣間見てみましょう。

Profile

専門は、「放射線防護学」「平和学」。東京大学工学部原子力工学科卒(第1期生)、工学博士。立命館大学経済学部、国際関係学部教授を経て、2008年より立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長。2013年、日本平和学会第4回平和賞受賞。福島原発事故後は、毎月福島を訪れ、放射線量測定や食料汚染検査、相談活動など被災者に寄り添った活動を行っている。

第1回 4月25日(火)

『寄席芸人伝』第90話「破礼嘸花蝶」

第2回 5月30日(火)

『寄席芸人伝』第42話「嘸家戦記 柳家円治」

第3回 7月4日(火)

五代目春風亭柳昇「与太郎戦記—戦場にかける恋」

会場 立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル5階)

時間 14:00~15:40(90分の講演と10分の質疑応答)

受講料 1回 1,700円(全6回一括申込・振込の場合 8,500円)

定員 各回100名【先着順】※事前申込

定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
郵送でのお申込みの場合は、消印日での先着順とします。

お問合せ・お申込み先

立命館大阪梅田キャンパス 14階公開講座事務局

(窓口時間/月~金 9:00~17:30 ※土日祝を除く)

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階

TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894

メール:osaka-kz@st.ritsumei.ac.jp(公開講座専用)

※お電話でのお申込みはできません。お申込み方法は裏面をご覧ください。

第4回 8月29日(火)

『寄席芸人伝』第31話「動乱幸助」

第5回 10月3日(火)

『寄席芸人伝』第112話「地獄巡り 柳家吉松」

第6回 11月28日(火)

『寄席芸人伝』第124話「名残の雪 三遊亭新朝」



アクセス

地下鉄谷町線 東梅田駅 徒歩1分
地下鉄御堂筋線 梅田駅 徒歩3分
阪神 梅田駅 徒歩3分

JR 大阪駅 徒歩5分
阪急 梅田駅 徒歩5分

第1回

2017年4月25日(火)

『寄席芸人伝』第90話「破礼嘸花蝶」

「欲しがりません勝つまでは」。戦争宣伝映画の監督と作家のお座敷に呼ばれて艶笑落語を演じる春風亭花蝶。高座でも艶笑落語を演じては憲兵に踏み込まれている。果たして、監督と作家、そして、艶笑落語の花蝶は、終戦を迎えてどのように生きたのか?

第2回

2017年5月30日(火)

『寄席芸人伝』第42話「嘸家戦記 柳家円治」

1941(昭和16)年10月30日、浅草・本法寺境内に「時局に合わない」として50余の落語台本が「禁演落語」として葬られた。やがて太平洋戦争が勃発、落語家にも「赤紙」(召集令状)が届くようになった。将来を嘱望されていた柳家円治の命運は?

第3回

2017年7月4日(火)

五代目春風亭柳昇「与太郎戦記—戦場にかける恋」

敗戦濃厚の時局の中で、秋本安雄伍長(後の春風亭柳昇)は対空対戦業務を命じられ、部下15人を連れて貨物船の警備をしながら上海に向かった。雲霞のごとく攻め寄せる米軍戦闘機に対抗して打ち放った「秘密兵器」。果たして秋本伍長の命運はいかに?

第4回

2017年8月29日(火)

『寄席芸人伝』第31話「動乱幸助」

2・26事件前夜、一人の軍人が寄席の講座に立った。演じたのは『一眼国』。今となってはやや差別的にも感じるが、価値観の相対性をテーマとするこの演目は、現代の人権問題を考える場合にも示唆に富んでいるが、軍人落語家はどうなったのか?

第5回

2017年10月3日(火)

『寄席芸人伝』第112話「地獄巡り 柳家吉松」

戦後間もない寄席の高座。柳家吉松がヒロボンの勢いで『地獄参り』を演じている。人々は笑いに飢えていた。ヒロボンを打つ芸人を嘆かわしそうに見ている大看板・古今亭志ん蔵。やがて楽屋には「ボン中」が蔓延。吉松は落語かヒロボンか、選択を迫られる。

第6回

2017年11月28日(火)

『寄席芸人伝』第124話「名残の雪 三遊亭新朝」

文明開化の頃、寄席には薩長を始めとする地方出身者が押し寄せるようになった。若手噺家が『道具屋』を演じているがさっぱり話が通じない。近頃は「ヘラヘラ踊り」など珍芸まがいを演じる噺家も出るありさま。時代の変容に直面した三遊亭新朝が選択した道は?

※事情により、やむを得ず、日程・テーマ・講演者などが変更になる場合がございます。

お申込み方法

- ①「受講申込書」に必要事項を記入の上、FAX・メール・郵送、いずれかの方法で表面お申込み先までお送りください。②受講申込み受付後、「受講受付確認書」「郵便払込票」を送付いたしますので、受講料を納入(郵便払込)願います。

※お電話でのお申込みはできません。

※メールでのお申込みの場合、メールに必ず件名・本文を記載のうえ「受講申込書」を添付してください。

件名・本文がないと正常に受け取ることができませんのでご注意ください。

※事務局窓口にて現金で納入することはできません。

※払込手数料は申込者のご負担でお願いいたします。

※いったん納入いただいた受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。

※事務局より受講料納入確認の通知は行いません。

※お申込み後、2週間以上たっても連絡がない場合は、お問合せ先までご連絡ください。

受講申込書

▼希望する受講日該当欄に○印をつけてください。

FAX:06-6360-4894

第1回	4月25日(火)	『寄席芸人伝』第90話「破礼嘸花蝶」
第2回	5月30日(火)	『寄席芸人伝』第42話「嘸家戦記 柳家円治」
第3回	7月4日(火)	五代目春風亭柳昇「与太郎戦記—戦場にかける恋」

第4回	8月29日(火)	『寄席芸人伝』第31話「動乱幸助」
第5回	10月3日(火)	『寄席芸人伝』第112話「地獄巡り 柳家吉松」
第6回	11月28日(火)	『寄席芸人伝』第124話「名残の雪 三遊亭新朝」

全6回を受講する	申込回数	計:	回
----------	------	----	---

フリガナ ご氏名	受講者ID(お持ちの方)		
ご住所 〒	0	0	
TEL(自宅) FAX	性別 男・女	年齢 歳	生年月日(西暦) 年 月 日
TEL(携帯)	この講座をお知りになったきっかけ <input type="checkbox"/> 立命館大阪梅田キャンパスからの 郵送物 <input type="checkbox"/> 立命館大学HP <input type="checkbox"/> 大阪府・市の公共施設 <input type="checkbox"/> 校友会報「りつめい」 <input type="checkbox"/> 知人からの紹介 <input type="checkbox"/> その他()		
E-mail			